

広域連携計画様式の見直しについて

過年度協議会で「統計表における機械判断可能なデータの表記方法の統一ルール」（総務省）に基づく様式集の修正について、有識者から指摘・助言を受けた。今年度は、その指摘を改定した広域連携計画の様式に反映した（修正・反映した様式は資料 2-2 のとおり）。総務省資料のチェックリストに基づく様式修正項目 1-1～2-2 と、前年度広域連携計画の様式を実際に用いて行った図上演習の際の指摘に対する対応を整理した。

表 1 総務省資料のチェックリスト、図上演習時の指摘に基づく様式修正の概要

No.	対象項目	項目名	内容と対応
1	総務省 チェック項目 1-2	1セル1データとなっているか	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1セルに複数のデータが入力されていると、集計・グラフ化等に多くの手作業やプログラム作成が必要となる。 ⇒A表、B表に記載の連絡先セルに電話番号、メールアドレス等が複数入力されていた。列を複数追加し、それぞれの項目（電話番号、メールアドレス等）を入力できる様式に変更した。 ⇒また、「派遣可能期間」等の開始日と終了日のセルを分離した。
2	総務省 チェック項目 1-3	数値データは数値属性とし、文字列を含まないこと	<ul style="list-style-type: none"> ・ 円、¥、kg、トなどやマイナス記号（▲）を文字列として入力、ヒトが見やすくするための工夫として、千円単位を示すカンマを文字列として直接入力している場合、関数によっては正確に計算できない場合があるため、数値データは数値属性とし、文字列を含まないセルに設定する必要がある。 ⇒「派遣可能人数」等の数値を記載するセルには数値以外を記載しないことを注意書きし、セルの表示形式を数値に設定することでカンマを表示されないように設定した。
3	総務省 チェック項目 1-4	セルの結合をしていないか	<ul style="list-style-type: none"> ・ セルが結合（又は分離）されていると、機械判読に適さないため、1件のデータは、横1行で表記し、セルの結合又は不必要な分離は行わない。 ⇒全てのシートで結合を解除した。枠線を外枠のみとすることで体裁を整えた。
4	総務省 チェック項目 1-5	スペースや改行等で体裁を整えていないか	<ul style="list-style-type: none"> ・ スペースや改行等で体裁を整えた場合、データの検索性が低下するほか、複数の表を横断的に利用する場合においても支障が生じる可能性がある。 ⇒記載するセルで改行やスペースをしないことについて、注釈を追加した。 ⇒【記入要領】の説明文は行を分けて記載した。
5	総務省 チェック項目	数式を使用している場合は、数値データに修正しているか	<ul style="list-style-type: none"> ・ 数式を使用してセルの値を入力している場合、並べ替え等を行った場合、正確な値が表示されなくなる可能性がある。

No.	対象項目	項目名	内容と対応
	1-7		⇒計算を行う用の列を設けて、その列で算出した数値をコピーして、貼り付ける際は「形式を選択して貼り付け」となるよう注釈を記載した。
6	総務省 チェック項目 1-9	データの単位を記載しているか	<ul style="list-style-type: none"> ・単位が含まれる項目は、別セルにその項目の単位を入力する必要がある。 ⇒項目セル内に単位も記載されていたため、単位を表記するセル項目を追加した。
7	総務省 チェック項目 1-11	e-Stat の時間軸コードの表記、西暦表記又は和暦に西暦の併記がされているか	<ul style="list-style-type: none"> ・時間軸を「西暦」とする必要がある。 ⇒災害時に時間軸コードを入力する手間を省くために「派遣可能期間」等で西暦から年月日を記載するよう注釈を追加した。
8	総務省 チェック項目 1-12	地域コード又は地域名称が表記されているか	<ul style="list-style-type: none"> ・「統計に用いる標準地域コード」を可能な限り記載する必要がある。 ⇒災害時に地域コードを入力する手間を省くために「支援団体名称」に都道府県を別途追記することとした。
9	総務省 チェック項目 1-13	数値データの同一列内に特殊記号（秘匿等）が含まれる場合	<ul style="list-style-type: none"> ・数値データの同一列内に秘匿等の特殊処理を行っていることを示す記号を記載して Excel 関数で計算した場合、当該セルは無視されて計算される。 ⇒総務省が定める特殊文字の原則ルールを注意事項として別途追記することで空欄のセルの防止や、独自の特殊文字の使用を制限し、支援内容の取りまとめの効率化を図るための注釈を追記した。総務省のルールに則り、集計した結果がゼロの場合は「0」、集計に必要なデータがない場合は「***」、秘匿データの場合は「X」で統一した。
10	図上演習 指摘①	都道府県の記載	<ul style="list-style-type: none"> ・様式を集約する際に市町村名のみ記載とすると県ごとにソートができないため、各県毎に集約した様式をソートできるようにしてほしい。 ⇒総務省チェック項目 1-12 と同対応。
11	図上演習 指摘②	施設所在地の記載	<ul style="list-style-type: none"> ・処理に係る様式では支援先として組合がマッチングされる場合がある。組合が広域組合の場合もあることから、マッチングを検討する際に所在地についても情報が必要である。 ⇒市町村と組合ともに処理支援に係る A, B 表 3 では連絡先欄に住所も記載する形式に変更した。